

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できて いる	る ほ ど で き て い	こ で か が 多 い な い	な 全 く で き て い		
I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	3	7			あすなら10の基本ケアを基礎として「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」という観点からサービスを進めている	自立支援を念頭に置き、できることを減らさず在宅生活を支えていると思います。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	3	8			会議の回数が増えサービスの特徴を学ぶ機会が増えた。	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		6	5		定期巡回職員対象の研修が設けられ、制度への知識と認識が増した。 また、奈良市内多職種、多事業共同での学習会に参加し学びを深めている	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		8	3		可能な限りの配置に配慮している。 年間1~2回の面談を実施し能力開発に努めている	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	3	8			細かい話し合いができて以前よりスムーズな共有が出来ている。 (具体的情報交換の場) 毎日の朝礼での情報共有(365日) 日誌での情報共有(365日)	文章と口頭での説明をすることでミスなく伝達が出来ていると思います。
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		11			可能な限りの配置を検討している。但し、人材配置上難しい場合もある為話し合い等にて適切に対応している	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	1	9	1		検討し、取り入れている	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	9	1		スマケア導入し、スマートフォンとパソコン活用し記録管理している。	
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		6	5		年に2回の防災訓練の実施。また、災害時行動指標を配布している。また、安全衛生委員会・安全運転講習会により業務上の安全確認や注意点等を確認している。朝礼での周知も適時行っている	

利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報等の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	1	10			スマートフォンでの情報の取り扱い方や、個人情報についての学習等を行い共有している	
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	1	10			初回アセスメントから、日常のアセスメント。モニタリングの情報等を共有する場と時間をもつけ、紙面でも共有している。(朝礼・ミーティング)	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	3	8			上記同様に、共有の場と時間。紙面上の共有を行っている	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	3	7	1		自立支援・生活リハビリを基本とし、できる事できない事を引き出し情報を得ながら作成している。	
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	3	8			自立支援を基本として、ある程度の予測をしながらの計画作成をしているが、想定外の出来事もある。その都度看護師と共に話し合い提案が来ている。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	4	7			テレビ電話や心身状況変化に応じて随時対応をし、定期的にケアが必要な際はケア会議をしながら対応している	
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	3	8			看護師によるモニタリングを中心におこなっている	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	1	9	1		役割分担をしている。又それぞれの意見を合わせる場を持ち共有している	定期巡回の良さを発揮していると思います。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	2	8	1		行われている。モニタリングや必要であれば、訪問し情報を共有し計画の検討をしている。又朝礼の際に看護師からのアドバイスが実	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	3	8			「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」の枠組みの中でのサービスである事を都度説明している。まだ、説明不十分であるときもあり、より一層の説明と情報提供が必要と感じている	説明が不十分だと家族さんとの認識にずれが出ることもあります。分かりやすく説明していただけたらと思います。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	2	9			計画の説明を変更時に行っている。特に担当者会議等の場をお借りして説明をさせて頂いている	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	3	8			報告に必要な連絡をその都度連絡している。	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	3	8			その都度共有し相談をしている。また、担当者会議での報告と共有をその都度行っている	外部ケアマネとの連携は難しいと思います。提供状況だけでなくサービスの理解を深める説明も必要だと思います。

	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	1	10			状態の変化に対して提案を行っている。但し、地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用は思うように進んでおらず積極的な活用ができていない	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	4	7			サービス担当者会議の場での共有を元に、情報提供や多職種の間を活用している。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	1	8	2		保険外サービス・インフォーマルケアの活用が進められていない現状にある。	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	2	8	1		積極的な病院のカンファレンスや入院時の情報提供をCMを通じて行っている	
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		10	1		地域への情報発信を行っているが、進捗状況は遅く、徐々に地域とのかかわりを持ちつつある	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできる方法での情報発信が、迅速に行われている	1	7	3		行っている 当法人のHPより情報発信を行っている	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	4	6	1		上記同様HPにて情報発信を行っている。月に一度地域の学習会で発表の機会を頂いているのでそこで広報活動をしている。がまだまだ積極的な周知につな	認知が広がっていないサービスかと思えます。事例などを通して理解を深めて頂き、利用につなげてください。
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		10	1		市の学習会や地域ケアシステム協議会の参加し、地域包括システムの取り組みや構築に向けての学習を行っている	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	3	8			特定施設へのサービス提供は無く、地域のご利用者様が全てである	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)		6	4	1	認知症への理解や介護、介護保険への理解と共に地域への発信をしているが、課題提起、改善策の提案の場はまだ設ける事ができていない。	
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	1	8	2		個々により差がある。介護度の軽減やできる事を増やせる事が出来る事例が増えてきている。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	3	8			個々により差がある。安心感を得られる様には努めているが、価値観の違いや求める事が違うために個別に対応をしている	気持ちの面で負担が減り助かっています。